

# 庄原市行政評価シート

令和4年度評価

事務事業名 がんばる農業支援事業補助金						
所管	企画振興		部	農業振興		課
実施期間	平成	20	年度～	令和	6	年度（終期設定が無い場合は終期を空白）
予算科目	会計	款	項	目	事業	
	01	06	01	03	3411	
	一般会計	農林水産業費	農業費	農業振興費	がんばる農業	
対象者	市内在住の一般農業者または認定農業者			対象者数など	認定農業者(個人)	
根拠法令等	庄原市ががんばる農業支援事業補助金交付要綱					
HPアドレス						
実施目的	市内で農業経営を行う農業者等に対し農業所得の向上を実現するための機械施設等の整備を支援することにより、本市の農業振興を図る。					
事務事業の概要	<p>農業者等が、農産物の販売によって農業収入を増加させるために必要な機械器具及び施設の整備に必要な経費を下記の補助率により補助する。</p> <p>【補助率及び補助金額】</p> <p>一般型 対象経費の4分の1以内で、225千円を上限とする。</p> <p>認定農業者型 対象経費の5分の2以内(農業経営改善計画に計上がない場合4分の1以内)で400千円を上限(下限額50千円)とする。</p>					
年度別実績概要	令和元年度	一般型	13件	1,843千円		
		認定農業者型	37件	11,906千円		
	令和2年度	一般型	11件	998千円		
	認定農業者型	24件	8,762千円			
令和3年度	一般型	13件	1,096千円			
	認定農業者型	32件	9,335千円			

## 実績指標

(単位:千円)

事業費 (インプット)	項目	内容	R1	R2	R3	計
	事業費	補助金	機械施設等の整備に要する経費	13,749	9,760	10,431
						0
						0
計			13,749	9,760	10,431	33,940
財源	国県支出金					0
	地方債					0
	その他					0
	一般財源		13,749	9,760	10,431	33,940

		指標名称	単位	基準値	R1	R2	R3	計
実績 (アウトプット)	1	一般型 交付件数	件		13	11	13	37
	2	認定農業者型 交付件数	件		37	24	32	93
	3							0
成果 (アウトカム)	1	農業経営改善計画の達成	件		37	24	32	93
	2							0
	3							0
備考	事業実施から5年間、販売実績の報告を求めている。 販売計画目標は達成している。							

事務事業名	がんばる農業支援事業補助金
-------	---------------

評価項目	所管課	市民意見	評価委員会	評価平均(上段)・分布(下3段)	市民意見	評価委員会
(評価は、A=1,B=0,C=△1とした平均値で、A,B+,B,B-,Cの5段階判定)						
<b>優先度</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	1.0		0.9
A	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が高い事業である。			1		6
B	同じ分野の他の事業と比較し、優先度は中くらいの事業である。			0		1
C	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が低い事業である。			0		0
<b>認知度</b>	<b>B</b>	<b>-</b>	<b>B</b>	△ 1.0		0.0
A	対象者以外にも、おおむねの内容は知られている事業である。			0		0
B	対象者には、おおむねの内容は知られている事業である。			0		7
C	一部の者を除き、事業があることすら知られていない。			1		0
<b>有効性</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>A</b>	0.0		0.7
A	費用に対して、効果・成果が高い事業である。			0		5
B	費用に対して、効果・成果が中くらいの事業である。			1		2
C	費用に対して、効果・成果が低い事業である。			0		0
<b>受益者満足度</b>	<b>A</b>	<b>-</b>	<b>A</b>	-		0.7
※受益者： 市内在住の一般農業者または認定農業者						
A	受益者(対象者)は、満足している事業内容である。			0		5
B	どちらともいえない。			0		2
C	受益者(対象者)が、満足できない事業内容である。(改善要望がある ほか)			0		0
<b>市民(納税者)納得度</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B+</b>	0.0		0.3
A	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外も納得できる事業である。			0		2
B	どちらともいえない。			1		5
C	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外は納得できない事業である。			0		0
<b>代替性</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>A</b>	0.0		0.7
A	収益性や技術面から民間での実施が難しく、市が実施すべき事業である。			0		5
B	民間での実施も可能であるが、公共性・公平性などから市が関与すべき事業である。			1		2
C	市の関与は委託や助成とし、民間等での実施を検討すべき又は市が関与する必要はない事業である。			0		0
<b>まちづくり基本条例適合性</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	0.0		0.1
A	市民(団体等を含む。)の自立を促進する事業である。			0		1
B	市民の自立促進までは期待できないが、条例の趣旨(市民が主役のまちづくり)に沿った事業である。			1		6
C	条例の趣旨に沿った実施形態となるよう、手法・内容を見直すべき(終了を含む。)事業である。			0		0

所管課評価	<b>拡充</b>
-------	-----------

視	約7割が小規模や兼業による経営体で、この中で専業、第1種兼業農家で、販売額の増加と、農業経営の継続について成果を挙げている。 また、認定農業者についても、農業経営改善計画の達成に向けた支援策として重要な施策である。 しかし、地域によっては担い手等がおらず、第2種兼業農家が農地保全のための作付けが行われているところもあり、販売額の増加のみならず、農地保全のための営農についても対象とすべきと考えるが意見を伺う。
課	産直市等の直売所へ出荷するための農産物の生産を目指した支援をしているが、高齢化等により出荷農家の減少が進んでいる。 今後も、効率的な栽培及び出荷のための機械施設整備を支援する一方で、生産品目ごとの指導も充実しながら出荷量の確保に繋げていく必要がある。

事務事業名 **がんばる農業支援事業補助金**

**市民意見 (プラモニ)** ※市民意見は、意見数集計のみを評価とします。(プラモニとしての総括評価はありません。)

分布	現行どおり	拡充	縮小	終了	総回答数
	0	1	0	0	1

主な意見	<p><b>【拡充】</b>                  ・実際の農業者ではないので、細かいところはよくわからないという前提だが、「農業者等が、農産物の販売によって農業収入を増加させるために必要な機械器具及び施設の整備に必要な経費を下記の補助率により補助する。」ことが目的であるならば、営農集団などの法人やすべての農業者を対象にした方がよいのではないか。対象を絞っている理由はなぜか。</p>

事務事業名 **がんばる農業支援事業補助金**

**行政評価委員会評価** **拡充** ※行政評価委員会の摘録(会議内容)はホームページに掲載しています。

**総括意見** 昨今の肥料・飼料や燃料価格の高騰は、農業経営者に多大なる影響を及ぼしている。こうした中、本事業は農業経営者の生産効率の向上と農業所得の増加を支援しており、本市における農業振興を図る上で重要な事業であると言える。農業従事者の減少や高齢化等の課題に対して、本事業の活用による新たな担い手の確保や、農地保全、地域活性化などが図れるよう、事業の継続と補助対象の拡大を検討いただきたい。

※委員会における最終的な評価として総括したもので、分布の多い評価を優先するものではありません。

↑	分布	現行どおり	拡充	縮小	終了	
		0	7	0	0	

**【拡充】**

① 近年、農業を取り巻く情勢は大変厳しく、後継者不足や農地の荒廃増加など社会に大きな影響をもたらしている。特に昨今は肥料・飼料や燃料の高騰など農業者の経営状況は大変困難な状況となっている。併せて、農業機械・施設の購入費、償却の占める割合は多くなっている。そうした中で、本事業は農業者の経営支援となっており、今後も継続し、可能であれば補助率の増率や一般の水稻農家にも補助対象を広げてもらいたい。

② 従来は生産販売の為の田畑(農地)。より農地保全の為の生産という考えであれば認定農業者であれ、一般農業者であれ、専業・兼業であれ農地の保全は最優先であると考え。農業に従事する人口の減少・高齢化現象は今後更に進むと強烈に感じる。そんな中で今後は各営農組合同志の施設の共同利用化・生産組織体制のあり方等、支援事業制度の中で工夫する時代が来るのかな?と思われる。

③ 高齢化が進む中、機械や施設の整備は、生産者の負担を軽減すると考える。本市の農業振興に向けてしっかり実施していただきたい。

④ 農業の活性化は単に農業だけではなく、地域の活性化、若者の定住促進等色々な視点から考えて大切なことだと思う。進め方はよく分からないが支援が必要な分野だと思う。

⑤ 第一次産業の農業を守ることは大切。申請数が増加しており、なるべく多くの申請を認可して頂きたいため、予算額の増額を望む。

⑥ 高齢化により出荷農家が減少する中、機械等を導入することで現状を維持することができる。また定年のない農畜産業で所得がアップすることで健康や生きがい創出にもなるため補助額も含め今後も内容を検討していただきたい。農地も荒廃が進むため、農地保全のための営農も対象にすべきと思う。

⑦ 農業者にとって所得の向上や経営の継続のためにも必要な事業である。補助対象(要件、補助率及び金額)の見直しも検討をお願いしたい。

各委員の意見

**今後の事業実施の方向性** **拡充**

**詳細** 農業収入の向上及び、認定農業者の農業経営改善計画達成に向けた重要な事業であるため、継続して支援を実施する。  
また、令和7年度の庄原市がんばる農業支援事業補助金交付要綱の見直しに向け、販売額の増加のみならず、担い手の確保や農地保全に向けた新たな支援内容についても検討を行う。

**備考** 予算額 令和5年度： 14,500千円  
令和4年度： 14,500千円